

サケ人工増殖における親魚捕獲、蓄養および受精作業の現状と問題点

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2024-08-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 宮本, 幸太, 平澤, 勝秋, 宮内, 康行, 戸叶, 恒
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010459

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



サケ人工増殖における親魚捕獲、蓄養および受精作業の現状と問題点

宮本幸太・平澤勝秋・宮内康行・戸叶 恒

サケの増殖技術を向上させるため、各地の孵化場で用いられている増殖手法を調査し、問題点を整理した。その結果、捕獲時に魚が受ける過度なストレス、採卵用親魚の撲殺から採卵までの長時間放置、受精作業時の高水温用水の使用が孵化率を低下させている可能性が示唆された。これらの問題点を改善するためには、魚道式捕獲法の導入、蓄養池を利用した採卵作業時間の短縮、適水温孵化用水の確保等の技術改革によってふ化率を向上させる必要がある。